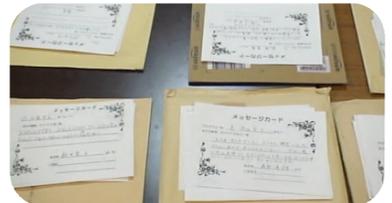




会場(大ホール)の様子



聴いている方もメッセージカードに感想を書き込みます。最後に楽譜、講評カードと一緒に出場者のもとへ届きます。

《こんな裏方も》



演奏時間を確認する計時係り 途中休憩では審査員へのお茶の接待も 司会
司会は、小ホール、大ホールともに落ち着いていて聴きやすかったと好評でした。(写真は大ホールの司会)

*****《講評の様子》*****

☆はじめに山岡秀明上級の部審査委員長より、上級の部審査についてのコメント

アコーディオンという楽器は非常に幅広い楽器で、ポピュラーソング、シャンソン、カンツォーネ、そういうのを軽音楽といいます。それからクラシック、また現代の本当にアコーディオンのオリジナル曲として素晴らしい作品があります。武満徹をはじめいろんな作曲家の演奏曲があります。そういうものの分類がこの上級の中に全部入ってしまうというのがこの審査の非常に難しいところです。

だから、この成績が絶対的なものではありません。それは最初からはっきり考えて審査の先生皆さんやっていると思います。

ただ、ここで聴いた感じとして今日はこれが良かったなという感じを、素直に出した答えであるということであって、これが絶対ではない。これから先、ずっといろんな分野のものをやることによって、その境地の難しさっていうのをやがて知るのが私たちアコーディオ